

<p>第 272 回 都市懇サロン レポ ー ト</p>	<p>テーマ：「都市計画コンサルタント協会・未来への模索」</p>		
<p>講 師</p>	<p>株式会社ユニークエディションズ 代表取締役 西尾 京介 協会ビジョン策定検討特別委員会 委員長</p>	<p>開 催 日</p>	<p>令和5年7月11日(火) 18：00～20：00</p>
<p>講 師 プロフィール</p>	<p>大阪大学大学院工学研究科博士前期課程修了。(株)日建設計、(株)日建設計総合研究所にて大規模都市開発の計画、都市のビジョン・戦略策定、再開発等の調査・計画、地方都市の中心市街地活性化、エリアマネジメント、公共空間の利活用等に従事。2021年に独立、既存の空間資源を活用したまちなか再生やエリア価値の向上に注力。著書に「PPR the Gears 公共空間利活用のための道具考」等。</p> 		
<p>お話の概要</p>	<p>2013年策定の「新生都市計画コンサルタント協会のビジョン」から10年振りとなる。「協会ビジョン検討特別委員会」は委員10名・コアチーム8名で構成され、都市コンサルタントのレジェンドや学識者・関係団体の有識者等へのインタビューを行った。</p> <p>策定過程で参加型プロセスを導入し、オンライン会議による都市計画コンサルタント「未来会議」には多くの若手、中堅、管理職の都市計画コンサルタントが参加した。また、『都市計画コンサルタント「未来を描くシンポジウム」』では東京大学准教授、研究所研究員、企業の代表取締役等をお招きし、ディスカッションを行った。</p> <p>都市構造や社会構造が変化の過程で、都市計画の理念や果たしてきた役割、培ってきた技術とは何か。都市計画は、時間軸や多様性、幸福感、社会変革といった理念や中長期的な視点、「公共の福祉」を目的とした法制度の運用や活動といった軸となる考え方をもとに、都市において空間のみならず、活動をも含めて、「分析、計画、デザイン、マネジメント」し、目指すべき都市を実現していく“幹”となる役割・都市計画技術がある。</p> <p>新たな時代のニーズに答える「拡がり」と「動き」を実現させる。「拡がり」とは、長期的方針、将来像を描き、空間を形成し(整備・誘導する)を根幹として、中間領域で地域課題に対応した分野間連携を計画し、空間や活動をマネジメントし、都市“活動”を生み出す操作、空間づくりとシステムの連携に繋げていき、都市計画を社会に組み込み、「動き」を実現させていく。成果は、ビジブルなもの(人の健康や豊かさ、元気さなど)に現れ、活動する者の心にも働きかける(美しさやコミュニティ・文化や新たな活動など)。</p> <p>これまでを振り返って、「計画の放棄」に陥っていないか？無意識に価値観の画一化は進んでいないか？⇒共有と共感、都市空間の再編に落とし込むプラン、都市だけでなく国土全体を見たプラン、持続可能性を高める分野横断的な計画技術の研鑽と実装、国際化や多様化への対応等が求められる。</p> <p>以上を踏まえ、これから求められる都市コンサルタント像は官民連携伴走型・ジェネレーター型・ホームドクター型・プロデューサー型専門家の4つに分類される。</p>		
<p>意見交換の概要</p>	<p>意見交換やディスカッションで発言する機会が減っており、そうした障壁を打破するために議論の場を活性化させる工夫・仕組みがより一層求められる。</p>		
<p>記録者のひとこと</p>	<p>都市構造等が複雑・高度化するなかで活躍する都市コンサルタント像を再考する良い機会となった。《都市懇サロン運営部会 委員 記録者氏名 高橋 晴也 記入》</p>		